メメメ

令和３年
11月

きらきら輝く宝島！

十一月七日（日）、宝の夢文化祭が開催されました。会場となった体育館には、大勢の方が訪れ、開始前からにぎわっていました。

小・中学生の音楽発表では、マーチングやリコーダーを演奏するなど、明るく楽しげな音色が体育館に響きました。

いまきら園児は、手話や鍵盤ハーモニカで歌を披露したり、オペレッタで動物を演じたりして、かわいく、明るい雰囲気が体育館を包みました。

学級ごとの発表では、小学一・二年生は劇、小学三・四年生は手話とリズム縄跳び、小学五・六年生はテレビ会議システムを使った授業やオリジナルTシャツづくりの道のりについて発表を行いました。また、中学生はダンス発表と技術、国語、数学、英語の教科で学習したことを発表しました。

それぞれが緊張しながらも、これまでの練習を思い出しながら、自信をもって発表することができました。

ほかにも、島民の方々による歌などの音楽発表や、スティールパンの演奏も行われました。その中には、宝島の伝統の歌である「トカラ観音主」の発表もありました。

また、二回目となる本名一竹さんによるドローン映像は、宝島の様子だけでなく十島村全体にまで映像が広がり、島民の方々からも「すごい！」などの感嘆の声が聞こえてきました。

「心を合わせ　仲間と共に　新たな道へ　光輝け宝島」のスローガンのとおり、島全体が光り輝くような盛り上がりを見せました。来年度の文化祭にもご期待ください！

思い出に残った！工夫ある展示たち

今回の宝の夢文化祭では、昨年と同様、島民の方々が作成してくださった作品や児童・生徒が作成した作品などがたくさん展示されました。

宝島小中学校からは、習字や図工・美術の作品、クラブ活動で作った砂絵などが飾られました。また、普段は校長室に保管されていて、あまり見ることのできない、昭和三十四年から現在までのアルバムも飾られました。

いまきら園からは、園児が描いた絵やみんなで協力して作ったフェリーとしま2の展示がされました。

一般の方々からは、宝島でとれる魚や貝がらを使った作品、宝島にやってくる鳥の写真、その鳥についての解説がされたものなどがありました。他にも、トカラ観音主のトカラ三シン会について説明してあるものや、昔からある郵便ポストの模型などもありました。

作品を鑑賞している中で「この作品はとてもきれいだな。」という感心の声や、「これはどうやって作っているの？」という驚きの声が多く聞こえてきました。

どの作品も、興味深いものが多く、私自身も見ていてわくわくしました。作品を見る中で、宝島についての新発見もたくさんあり、今年の文化祭の展示も心に残る思い出になりました。

歴史に残そうトカラ観音主

みなさん、文化祭で歌われたトカラ観音主のことをどのくらい知っていますか？私はこのような歌があるということを全く知りませんでした。

そこで、トカラ観音主について平田豊美さんにインタビューをしました。

Q　誰からこの歌を教わりましたか？

A　宝島の伝統行事などで大人の人達から教えてもらった。

Q　文化祭で歌ってくださいと言われたときどのような気持ちでしたか？

A　人見知りなので少し戸惑いもあったが、いい機会だったので歌った。

Q　トカラ観音主は、誰が作ったのですか？

A　トカラ観音主は、作った人は分からないけれど、色々な人が作業中などにその場の思いつきで歌詞を作っている。だからみんなも作れるのでぜひ作ってほしい。

このインタビューで豊美さんは「もっと若い人たちに知ってほしい」「歌ってほしい」とおっしゃっていました。

私は、豊美さんの思いを聞き、私もトカラ観音主の伝統をつなぐ一員になりたいと思いました。宝島の伝統あるトカラ観音主を皆さんも一緒に守り伝えていきましょう。

ひとこと：秋です！！秋といえば，食欲の秋！！秋の味覚を全力で楽しみます！！皆さんにとっての秋は？　尾家文都

お帰り！収穫祭

十一月十九日（金）、二年ぶりの開催となる収穫祭が行われました。

本来であれば、収穫して調理した黒糖ピーナッツを会場で食べるのですが、コロナ対策のため会食は行えませんでした。ですが、二年ぶりの収穫祭ということで、小・中学生や先生方みんなで張り切って準備してきました。

初めに、これまでの取り組みの発表を行いました。それぞれの学級で収穫から袋詰めまでの工程を、分かりやすく、はきはきと紹介していました。この発表で、島民の方々にも興味を持っていただけました。

ふれあいタイムでは、グラウンドゴルフ、昔遊び（けん玉、おはじき、お手玉、こま）の五つを体験しました。昔遊びでは、島民の方々に遊び方を教えてもらいながら一緒に楽しみ、交流を深めることができました。グラウンドゴルフでは、三つの難易度のうち二つをクリアし、最後のコースに進んでいる人もいました。楽しそうな笑い声も聞こえてきました。

島民の方々が帰られるときに、袋詰めした落花生をお渡ししました。

皆さん、私たちが一生懸命作った黒糖ピーナッツはいかがだったでしょうか。皆さんと楽しく温かい時間を過ごすことができ嬉しかったです。来年もお楽しみに！

伝統をつなぎよりよい学校へ……

十月二十五日（月）、児童生徒会改選が行われました。新体制は、次のとおりです。

児童生徒会長　尾家文都
副会長　松下真奈
　　向井彪悟
生物・環境委員長　舟木蒼哉
　　副委員長　松下朔也
図書・放送委員長　松元大樹
　　副委員長　尾家礼都
給食・保健委員長　田中光結
　　副委員長　小川美未香

後期の会長である尾家文都さんは、「今までの児童生徒会長の姿をお手本として児童・生徒をまとめ、学校をよりよくしていきたい。」と言っていました。

これからの学校生活がさらにすばらしいものになることを楽しみにしていてください。

入選！そこにある思い

第六十九回学校新聞コンクールで、「メイメイ」が三席に入選しました。

私たちはメイメイを作るときに、地域の方に楽しんでもらい、愛されるような新聞づくりを心がけています。そんな「メイメイ」が、今回も昨年に引き続き入選し、うれしい気持ちでいっぱいです。これからも、読者に愛されるような新聞づくりを頑張っていきます。

また、「鹿児島県学校環境緑化コンクール」で優秀賞に入選しました。花を作るときはどんな花に育つのだろうといつわくわくの気持ちや、児童・生徒だけでなく地域の方にも満開の花を楽しんでほしいという気持ちで育てていると、緑化を担当されている先生が話してくださいました。

これからも、楽しみながら新聞づくりや花づくりをしていきたいです。

日々の成長 ～日記の紹介～

「サイクリング」　小学四年　本名　百竹

この前の土曜日サイクリングに行きました。ひさしぶりでした。しかも、お父さんとちかちゃんとふくちゃんで行きました。宝島の自転車でお父さんのうしろにちかちゃんがのって宝島一しゅうしました。ひさしぶりにしたのでつかったです。ふくちゃんはあまり自転車で遠くに行くことがないのでとてもつかれたそうです。初めてみんなで行ったサイクリングだったけど楽しかったです。

「ハブ」　小学四年　廣瀬　優

今日の夕方、お父さんが「朝、家の前に、ハブが二ひきいたよ。」と言っていました。ぼくは、びっくりしました。まだ、いるかと思って、家の前に行ってみると二ひきともいました。二ひき同時にに見るのは、初めてでした。そして、十秒くらいすると、「ピーピー」という声が聞こえました。ハブを見ると、一ぴきの小鳥を、口にくわえて、食べていました。

その後、ハブをぼうでたたきました。一ぴきは、にげてしまいましたが、もう一ぴきはころしました。よく見ると大きかったです。

小鳥はかわいそうだったけれど、ハブを見れて、うれしかったです。

12月の行事予定

４(土)　クリスマス会
７(火)　授業参観・ＰＴＡ
８(水)　島内一周駅伝試走
１１(土)　トカラ集会(小宝島)
　　避難訓練
１２(日)　島内一周駅伝大会
１７(金)　小学校入学説明会
２１(火)　眼科・皮膚科検診
２４(金)　終業式・大掃除

クイズコーナー

１１月７日（日）にあった文化祭で披露された「トカラ観音しゅ」の「しゅ」には，次のどの漢字が入るでしょうか。

①　主
②　集
③　衆

ひとこと：冬に向け，そろそろ衣替えの時期となりました。暖房器具の準備はできましたか？　今里陽巳